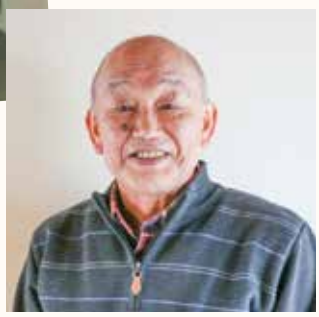
70th ANNIVERSARY

共に70歳を迎えた思い



野﨑（のざき）　正治（まさはる）さん

日野町は、昭和30年3月16日に、1町6村が合併して誕生し、令和7年3月で70周年を迎えました。そこで、日野町と同じ70歳を迎えられた野﨑正治さんにお話を伺いました。

野﨑さんは、37年間町内小学校等の教育現場に携わられました。その後、8年間日野町子育て・教育相談センターの室長をされ、現在はわたむきの里福祉会の理事長をされています。

70周年を迎え、どのように感じますか

振り返ると、町の在り方が大きく問われた「びわこ空港建設」と「平成の大合併」が印象に残っています。さまざまな意見や課題がありましたが、住民運動などによる町民の意思で、現在の日野町として、70周年を迎えることができたと感じています。

どのような変化がありましたか

役場の移転や小学校の木造校舎の建て替えなど、町は大きく変化してきました。国道307号や477号がない時代は、道が狭く車1台が通るのがやっとでした。

昭和55年には日野水口グリーンバイパスの開通記念マラソンが行われ、桜谷小学校の児童と一緒に、車よりも一足早く通ったのは良き思い出です。

合併当初の暮らしは、お風呂に入るために薪割りをしてお湯を沸かしたり、炭で暖をとったりしていました。みんなが同じ生活なので不便だとは感じていませんでしたが、子どもも仕事を任されました。現在の日野町が誕生した昭和30年から始まった高度経済成長により、物心がついたころから、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫等が身近な家電となっていきました。

今回改めて、町も暮らしも大きく変化した時代を共にしてきたと感じています。

今後の町への思いを教えてください

日野町だけでなく日本全体の課題でもある〝少子高齢化〟の中でもやっていける町をみんなで考える必要があります。そして、誰もが住みやすいノーマライゼーション（誰もが平等に生活ができる社会を目指す考え方）な町をつくっていきましょう。また、日野町の若者には、現代の情報があふれている社会でも、自分の価値観を見つけて大事にする中で、豊かな歴史と文化を持つ日野町と共に歩んでいってほしいと願っています。

～昭和30（1955）年の主な出来事～

羽田空港の旅客ターミナルオープン（5月20日）
新しい1円貨幣が発行される（6月1日）
世界で最初のディズニーランドが
　　カリフォルニア州にオープン（7月17日）
ＮＨＫの年越し番組
「ゆく年くる年」がテレビ放送を開始(12月31日)

合併当時の商店街風景

今と昔の比較ギャラリー

昔の写真と今の写真を比べてどのように変わったのか発見してみよう！

議会

役場庁舎

昭和55年に移転

移転前の役場や消防署は、大窪の街なかにありました。

日野消防署

平成27年に移転（大谷）

昭和49年に移転（河原）

移転前の消防署（大窪）

松尾公園

日野中学校の制服

新しい制服

前の制服

令和５年４月から制服が変更。生徒会代表やＰＴＡなどを含む制服検討委員会で検討され、最終的には生徒投票で新しい制服が決定されました。

日野駅

平成29年に駅舎を再生

多くの寄附により駅舎が再生されました。旧駅舎で使われていた「日野駅」の看板はそのままに、今に引き継がれています。